

骨ミネラル代謝異常の診療指針の策定に関する研究 のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年4月28日～2029年5月31日

〔研究課題〕

骨ミネラル代謝異常の診療指針の策定に関する研究

〔研究目的〕

骨ミネラル代謝異常の診療指針策定のため、骨・カルシウム・リン代謝を調節する副甲状腺ホルモンの分泌や効果が低下した症例、その類縁疾患の症例に関するデータを多施設で蓄積し解析します。

〔研究意義〕

本研究により、骨ミネラル代謝異常に関する希少疾患の自然歴、治療歴、合併症、予後などのデータが広く蓄積され検討できるようになるため、患者のQOLや診療の質の向上が促進されます。

〔対象・研究方法〕

2017年1月以降に当院を受診し、下記疾患の診断を受けた方を対象に、年齢、性別、病名、病歴、身体所見、血液検査、尿検査、画像検査、遺伝学的検査、治療内容等の情報を匿名の形で抽出し、研究代表機関である大阪大学大学院医学系研究科小児科学教室(研究代表者 窪田拓生)に提供し、解析を行います。

対象疾患：副甲状腺ホルモン不足性副甲状腺機能低下症(二次性やマグネシウム補充により治癒する場合を除く)、偽性副甲状腺機能低下症、偽性偽性副甲状腺機能低下症、進行性骨異形成症、先端異骨症。

〔研究機関名〕

大阪大学大学院医学系研究科小児科学、千葉大学、および日本骨代謝学会評議員150名、小児科159施設、内科192施設、神経内科19施設、神経科6施設、および日本小児内分泌学会評議員171名、日本内分泌学会評議員1109名の所属する機関(帝京大学ちば総合医療センターを含む)

〔個人情報の取り扱い〕

研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせて頂くことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報は全て削除され、プライバシーは守られます。また、本研究に関する情報は研究終了後、帝京大学臨床研究センターに10年間保管され、保管期間終了後に情報を廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 井上 大輔 職名 主任教授
研究分担者：氏名 井上 玲子 職名 講師
所属：帝京大学ちば総合医療センター第三内科学講座
住所：市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211 (代表) [内線 2011]